

第6回総合体育館基本構想検討委員会 議事録

日時：令和3年11月26日（金）午前9時30分～正午

場所：市町村自治会館

1 開会

2 議事

(1) 整備候補地について

（西スポーツ施設対策室長 評価項目等の整理について説明）

（委員長）

それでは、ただ今の事務局の説明に対して皆さんから御質問や御意見はございませんでしょうか。

（A委員）

「アスリートファースト」欄の②宿泊施設の集積、③商業施設の集積、この項目は経済波及効果・収益性にもより繋がると思いますが、どちらにも関わってくると思います。特に中心市街地との回遊性と書いてありますが、やはり商業施設、宿泊施設があるということが経済波及効果にも繋がってくると思います。交通便利性もそうだと思います。

（委員長）

はい、どうもありがとうございます。今、4つに分類されているわけですが、その中のそれぞれの項目は繋がっているということですね。その辺のところは、やはり考慮していく必要があると思います。

それでは、他に何かございませんでしょうか。ここで、欠席のB委員から御意見を受けておりますので、事務局から説明をお願いします。

（西室長）

それでは、B委員からの意見につきまして、事務局の方で代読させていただきます。

整備候補地の絞り込みに係る評価基準のグルーピング等について第5回検討委員会を受けて整理されたグルーピングに分けることで、個々のカテゴリーにある指標の目的が分かりやすくなりました。また、グループのカテゴリーごとに採点し、その結果を踏まえて委員で検討いただくことに賛成いたします。

以上、B委員の御意見でした。

（委員長）

B委員からの御意見ということで、この整理の仕方についての御意見でした。他に何かございますか。

それでは、評価基準については委員の皆さんから了解が得られたこととした

いと思います。それでは、続きまして整備候補地の評価について検討を行っていきたいと思います。事務局におきまして、評価項目を整理し、その上で評価基準に沿って各候補地の評価を行っております。これについての説明をお願いします。

(西スポーツ施設対策室長 整備候補地の評価について説明)

(委員長)

ただ今、事務局から先程の評価項目の評価基準に従って、点数化した結果について詳細な説明をいただきました。最後は、それをまとめた総括表がおりますので、それを見ていただいてそれぞれがどういう評価をされているかということになっております。

それでは、皆さんから何か御意見や御質問がございましたら御意見をいただきたいと思ひます。

(C委員)

最後の整理表の中に今後の留意点として、「本港区まちづくりのグランドデザイン」との整合性が求められるという記載がありまして、これまでも議論されてきたと思うのですが、今回総合体育館をここが適地ではないかとした際に整合性が求められるというのは、総合体育館自体が現時点で整合するのかどうかということではなくて、今後またその内容によって整合するかどうかは判断されるというそういう意味になるのでしょうか。

(委員長)

今後の留意点というところで住吉町15番街区とドルフィンポート跡地のところは「本港区まちづくりのグランドデザイン」との整合性が求められると書いてあります。これにつきましては、参考資料がついておりまして、鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインと平成31年2月に策定されたものですが、そういったものの抜粋があります。ここの整合性これに齟齬が生じない形で作っていくということになるのですが、そこで求められると書いてある通り、今の御質問は今からそれを考えるのか、それも含めて整合性を求めるのかということだと思ひのですがどうでしょうか。

(西室長)

ただ今の御質問、グランドデザインとの整合性についてでございますが、今回整備候補地に挙げるに当たりまして、グランドデザインに求められている賑わいという部分を体育館の利用により整合が取れているということで挙げておりますが、引き続き今後も整合をとっていくことになると思ひます。

(委員長)

ということで、さらに今後それをまたどういうふうな手続きをするかということを追求していく意味があるということです。他に何かございませんか。

(A委員)

21ページの交通利便性で鹿児島中央駅と鹿児島港からの起点で整理されていると思うのですが、アスリートだけでなく、一般の関係者や見学者等々も来られるわけで、その場合に市電とか路線バスの交通のアクセスとかその辺の評価はどうなのでしょうということ。こういう観点からすると、例えば県農業試験場跡地はJR慈眼寺駅が近いと思います。そういったものも評価に加えたら良いのではないかなと思いました。それが1点と、あと48ページ、49ページについてやはり経済波及効果・収益性というのを考えた時に、前回コンサートの回数だけ入っていて、これは私がコンサート12回だけではそんなに多くはない、経済波及効果も小さいという視点でコンベンション機能をもったMICEを加えていただきたいと指摘をしたのですが、この辺が加わって非常に私としては良かったなと思っております。

(委員長)

2つ目は、感想ということですが、1つ目の交通利便性のところで鹿児島中央駅からの時間距離というのが中心に出てますけれども、他の結節点からの距離等々も考慮すべきではないかという御意見ですが、これについてはどうでしょうか。

(西室長)

委員御指摘の通り、アクセスに要する公共交通機関というのは、自動車以外にも多々あると思います。そういうことで17ページをお開きいただいてよろしいでしょうか。

アクセスの方法といたしまして、17ページがJRの場合の各候補地、市電の場合の各候補地の状況、また次のページでございますけれども、バスの場合の便数、そういうものを候補地ごとに比較をした上で、今回評価にあたったところでございます。

(A委員)

加味した総合評価ということで、21ページに出てくるわけですね。

(委員長)

よろしいですか。それでは他に何かございませんか。

(D委員)

御説明ありがとうございました。データが限られている中で、本当に精緻に整理し、かつ客観的にまとめられたのではないかというふうに感じております。

そういう中でちょっと2点ほど確認なのですが、先程のC委員とのお話にちょっと絡むのですが、整理表の下の留意点のところに「コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査」が行われていると。ここの一文をどうとらえるかということなのですが、ここは先程のお答えと同じようにランドデザインと同様整合性を取りながら、コンベンションとも最適化といいまし

ようか、そういうところは調整をしていくと、そういう理解でいいのかどうかという確認が1点。2点目がですね、ちょっと個別の話になるのですが、住吉町15番街区で浸水等ハザードマップ上懸念があるということなのですが、一番最後のところで欠格事由に当たっていないということですから、これは建て方によっては上手く対処できる可能性がある、そういう理解で良いのかちょっとそこだけ確認させていただければと思います。

(西室長)

お尋ねの点のまず1点目のコンベンション・展示機能との関連についてでございますけれども、今回整備候補地に挙げるに当たりまして、所管する土木部にも確認いたしましたところ、御指摘のございました可能性調査につきまして、体育館を所与のものとして検討を進めていくということを確認しております。今後、整備候補地の選定が行われる体育館の動向を見ながら、整備可能性調査を進めていきたいと考えているとのことです。

続きまして、住吉町15番街区の浸水部分のお尋ねがございました。こちらにつきましては、お尋ねの通り欠格事由にはあたらない程度の状況ということに関係部局に確認しております。

(委員長)

よろしいでしょうか。それでは他にございませんでしょうか。

(E委員)

既存スポーツ施設との連携ということで、こちらでは屋外スポーツとの連携ということで挙げておりますけれども、屋内スポーツ、特にバレーボール、バスケットボールといった大きな大会になりますと、日程の都合上、一・二回戦は会場を分散して、実施をしなければいけないというのが現状でございます。そうすると、類似施設、体育館アリーナ等があったほうが、運営の円滑化・効率化が図れると。そういう観点もぜひ考慮して欲しいなと思っております。

(委員長)

これについても、それぞれ大会の状況が違うと思っておりますけれども、そこで考慮するという、そういうことも念頭に考えていただければと思います。それでは、他にございませんでしょうか。

(F委員)

大変貴重な資料を見させていただきまして、まとめられてて、大変だったなと思っておりました。あと、やはり現地調査をして良かったなと。この数字を見ながら、そうだなと思いながらちょっと見させていただきました。

1点だけ確認なのですが、70ページの資料、「実現可能性」の敷地面積の確保のところなのですが、71ページから73ページまで、候補地にメインアリーナとかサブアリーナとかはめ込んであるのですが、これはミニマムの大きさですよ。要は、これだけだったら何かバックヤードがなかったり、体育館もそ

のコートだけ4コートあってもその外に、いわゆるフリーゾーンというのがあったりしますので、それを入れたときにやはりこの見取り図というのは若干変わってくるだろうし、本当に当てはまるのかなというふうにはちょっと私は思ったので、これはあくまでもミニマムサイズではめ込んだという理解でよろしいのでしょうか。

(西室長)

ただ今の御質問ですけれども、これまで議論いただきました所も含めて、あくまでミニマムのレイアウトとして、今回は各整備候補地にどのように配置ができるかというシミュレーションを行ったものでございまして、F委員御指摘の通り、今後1か所に絞られた後、きちんと動線等も合わせまして、具体的に検討を行うことになると思います。

(委員長)

基本的に「実現可能性」ですから、ここに入るよねということで粗々で。そうは言っても、一応合理的な形で書いてあるのですが、どこかに決まった場合は、そこからまた詳細にどういう形にしていくかということになると思います。はいどうぞ。

(G委員)

ただ今のF委員の意見と少し関連するのですが、いくつかこれ71ページで出てきているレイアウトの中で、余裕があるように見えるのですが、立地によっては景観の問題であるとか、市街地との関係性や公園とかの関係性、建築のときに建てるとなるとですね、空地も取りたいという敷地もあるけども、例えばドルフィンポート跡地がそうなんだと思うのですが、そういう何かこの数値に、あるいは条件に表れていない、市民感覚から見た時のあるべき建築の姿みたいなことも考えた上で、我々は見えていかなきゃいけないかなと思います。そのあたりを、ここではコメントしておきたいかなと思います。

(委員長)

どうもありがとうございます。今さっきF委員もおっしゃられたように前回5つの候補地を選定した後に具体的に現地調査をやっていただきました。その時にやはり、具体的なイメージがかなり頭の中に入っていたのかなと。そうすると、今、G委員がおっしゃられたようなところは「実現可能性」というところに記載がありますが、具体的にどこかで作るようになっていったときに、当然のことながらG委員のお考えは非常に大きなことだと思いますので、そこでまた議論していければと思います。それでは他に何かございませんでしょうか。

それではですねここで、実は、本日欠席しているB委員とH委員からですね、整備候補地に係る意見書が出されております。ここで事務局から紹介していただいて、そしてそのあとまた議論をしようかなと思います。

(西室長)

事務局の方から、B委員、H委員の意見について御紹介いたします。

まずB委員についてです。

整備候補地につきましては、説明を受けながら現地視察をしましたので、現地の状況は理解しました。そのうえで、今回の事務局の評価について記載された指標の採点に違和感はありませんでした。小生の意見は、評価点の通りドルフィンポート跡地が最善の候補地と判断しました。「アスリートファースト」の視点から交通の便が良いこと、周辺宿泊施設数が多いことが最大のポイントです。そして、鹿児島県の将来を見越したうえで、回遊性の高いエリアに集客装置としての総合体育館を設置することで、商業との連携からの経済波及効果も期待できます。鹿児島市電の路線新設計画も地域全体を見据えたエリアづくりに貢献するものと考えられました。コンベンション・展示機能を備える施設との連動は、施設設計のコンペの段階で審査の重要項目に入れておくことで、建築家・設計事務所の知恵を引き出すことができるのではないかと考えます。今回、整備地が決まることで、本検討委員会のまとめたコンセプトを効果的・効率的にする総合体育館について、アイデアを県民から募るなどすることが大事なことと思います。県民参加型の施設づくりにより、県民の期待に応える施設が実現できると考えます。

以上がB委員の意見です。

次にH委員の意見です。

今回5つの候補地について、採点結果がなされ、単純合計点からするとドルフィンポート跡地が最適とされる可能性が大であることは認識しているところであるが、私としてはこれには賛成しかねる。その理由について、まずコンセプトとの関係で、これまでの議論で、体育館はスポーツ振興と交流拠点の2つの機能を併せ持つが、そのウェイトは大凡7：3としアスリートファーストを重視することが大前提とされている。また、前回、12の評価項目についてはそのまま維持するものの、評価のウェイトについてはとりあえずの3点満点での結果を見て考え、必ずしも最高点の候補地がそのまま選ばれるとは限らないということだったと理解している。これらを前提に、評価基準のウェイトの置き方について考えると、例えば、「アスリートファースト（施設の利便性）」の大項目のうち①の交通利便性は駅等からの距離で評価しているが、メインターゲットとする県大会レベルの県内移動はマイクロバスやマイカー移動が多く、市内であればそこまで大きな優劣の違いにはならないはずである。②の宿泊施設も徒歩15分圏内でなくとも市内のマイクロバス移動ならそこまで時間がかかるとはならないと思われる。③の商業施設の集積もアスリート目線と言えば繁華街に近くなければならない必要はなく、物販店や飲食店が一定程度以上あれば足りると思われるところ、将来店が増える余地・見通しも含めそのような視点で見ると鴨池ニュータウン・農業試験跡地の1点とドルフィン・住吉町の3点は差が開きすぎると思う。この①～③は「アスリートファースト」の大項目に挙げられてはいるが、アスリート以上に県外観光客の行動に関わりの深

い項目内容である。前述のとおり県内アスリートのニーズからはそこまで差が生じない結果として、県外観光客の視点からのニーズの差がストレートに点数に反映することになるところ、交流拠点機能のウェイトは3割に過ぎないので、その評価点0～3点は他の項目より圧縮して考えるべきである。他方で、④の既存スポーツ施設との連携はまさに「アスリートファースト」にとって重要な項目である。国体や高校総体等全国レベルの大きな大会への参加のしやすさや効率的な運営を考えると、この項目のウェイトはもっと上げるべきではないか。つまり、評価基準のウェイトの置き方が本来の「アスリートファースト」より「観光客ファースト」に偏っている印象を受けるのでこの点修正すべきということである。次に今回独立の項目ではなく留意点とされた、まちづくりや他事業との関連である。ドルフィン跡地はある程度まとまった広い敷地があり、繁華街にも交通拠点にも近く、桜島と錦江湾といった鹿児島素晴らしい景観を堪能できる超一等地である。だからこそ「本港区まちづくりのランドデザイン」では開発のコンセプトを「年間365日賑わう観光拠点」とされたのである。今我々は総合体育館候補地はどこが最適かという観点から結論を出そうとしており、ドルフィン跡地は確かに非常に魅力的な候補地ではある。しかし、総合体育館ではなくサッカースタジアムやコンベンションセンターの最適地はどこかという観点で議論したとしても、これらの施設に商業・観光的色彩が多少でも加わる限り、たぶんいずれもドルフィン跡地が最適だということになると思われる。ドルフィン跡地は一等地であるからこそ多くの大規模施設の候補の最適地になりうるのである。こういう場合に、まだドルフィン跡地が他事業の候補地にも挙がっているままの状態、たまたま一番早く総合体育館の手続きが進みドルフィン跡地が最適と評価されたからといって、ドルフィン跡地にとって最適な活用方法は何かという大所高所からの観点を無視して、ここに体育館を作る前提で話を進めて良いとは思えない。早いモノ勝ちの論理でしかない。また、ここに閉鎖的な巨大な箱物の体育館を建てるのが鹿児島を代表する景観一等地のドルフィン跡地の魅力を活かすことになるのか疑問である。しかも、この体育館のコンセプトとして、MICE等の観光・交流機能のウェイトは3割しか想定しないのにである。このような景観の素晴らしい一等地にはそれを最大限活かして100%観光・交流を目的とした施設を作るべきである。ドルフィン跡地に体育館ではむしろを景観を損なうことになるのではないかと危惧している。このまちづくりや他事業との整合性の問題は、事務局が今後留意して担当部署と調整すれば足りるような事柄ではなく、きちんとオープンに正面から具体的に議論をして決めるべきことである。このまま体育館候補地がドルフィン跡地に決まれば多くの県民としては10年かかってまた元に戻ったのかという印象を持つと思う。前回のドルフィン跡地の話はなぜ潰れたのか。事務局はこれまで体育館の件が長く迷走し続けてきたことにつき手続の不透明性が原因だったと総括されていたと思うが、まちづくりの全体像との整合性を真剣に議論しないままドルフィン跡地で強行するとすればそれこそ、手続の透明性に反することになりはしないか。私はこれまで再三述べてきた通り、体

育館の候補地は特にドルフィン跡地が候補になっている以上はまちづくりや他の事業との全体的議論の中で決めていくのが一番であると考えているが、今回どうしてもこの5か所の中から1つに絞らなければならないというのであれば、ドルフィン跡地は将来のより有益かつ効果的な観光拠点建設のために温存しておくべきで、敢えて今回の体育館の候補地からは外すべきと考える。それでは、どこを推すべきか。交流拠点機能ウェイト3割を堅持するのであれば住吉町、場合によってはその割合を下げることも考え得るのであれば鴨池ニュータウンの2候補地が適当と考える。

これにつきまして、事務局からは以上です。

(委員長)

はい。それではですね、今日御欠席のお二人からの意見が出されておりましたので、それを今、御紹介いたしました。皆さんから御意見、御質問等をお聞きしたいと思えますけれども、何かございませんでしょうか。はいどうぞ。

(I委員)

今回のこの委員会というのは、望ましい体育館のあり方を検討するとともにコンセプトをもう1回見直して、規模を決めて、そして場所を選定するという流れだったと思うのです。これまで、コンセプトもアスリートファースト、スポーツを主軸に置きましょうということで、流れてきましたし、規模についても、バスケットボール4コートを中心に8千人規模というところで流れてきたと。そして、場所というところですけども、やはり場所という議論をすることによって、必然的にまちづくりとの関連性というものが求められてくるわけでありまして、まさに今、一番そのまちづくりとの整合性を見ながら、場所を決めるといふところに入っていると思うわけです。ただ、流れからしますと、やはり体育館の老朽化ですとか、機能性の問題ですとか、そもそもスポーツのキャパといいますか、それらの課題の中である意味待ったなしの議論を今、しているのかなと思います。他にも色々な課題があり、それを検討して望ましいものということではありますが、体育館を作るという方向性を定めるのはこの委員会なのかなと思っております。ただ先程申しましたように、全体のまちづくりという視点で、この体育館の候補地というのが、非常に重要な場所であるのはここに整理をされたところでも、書いてある通りでありますし、特にドルフィンポート跡地を中心として、点数も上がっておりますが、まちづくりや他事業との関連の留意点で述べられているように、やはりここ数十年、鹿児島の中で最も魅力的な場所として様々な議論があり、消えたものも、あるいはフリーズされたものもある非常に重要な場所だと思っておりますので、やはりより慎重な議論をするということは当然だと思っております。こういう評価の後に、留意点というものをお作りいただいたのは大変ありがたいと思っております。私としては、本港区自体の魅力が非常に高く、体育館もそのようなロケーションがいいのだろうというところで、大体の数字が挙がっているとおりと思えますけれども、委員会としては、この地区にピンポイントで体育館を作れば、

後はどうなってもいいというわけにはやっぱりいかないと思います。従いまして、今回の候補を決めるにしてもゾーンとして住吉地区とドルフィンポートは、ある意味で一体的な利用っていうものもできるわけで、一つの候補地に全部の機能を入れるとなるともう非常に狭隘化してしまうというか、実際現地に行ってみさせていただきましたけど、歩いてすぐでした。5つというよりも1つを主軸に関連的な利用も検討するということもあり得るのかなと思いましたが、やはり作る以上はそのあとの未来軸の中で今、議論されているコンベンションや、それよりもっと前から議論されているサッカースタジアムですとか、そういう施設・機能の一体的な開発を考えざるを得ない。それは関係ありませんよっていうわけにはいかないと私は思っております、やはり体育館の建設を決めたうえで、場所の主軸を含めて、未来軸の中で今後やるべきものを考慮する。あの時にこんなところに作っとかなきゃよかったとか、我々が生きている間は、場所を動かすことができないとするならば、もうちょっと寄せとけばよかったとか、後悔したくないなという気はありまして、色んな御意見の中でもやはり世界に誇れる、世界からうらやましがられる眺望であり、また県民市民にとっても重要な場所でありますし、誘客力からすれば九州の中でも随一という気持ちを持ってもいいぐらいの場所でもありますので、やっぱりそういったところの話をぜひ進めていただきたいと思っておりますし、今後、このあたりにと決定した後に、多分道路の取り付けの仕方とか、用途の変更だとか、色んなことを考えていかなきゃいけない。あるいは、周辺の港湾の事業者さんですとか、そういった方々との調整というのが、これからかなり大事になると思うのですね。私は建築の専門家でないですから、詳しいことは分からないのですが、このあたりに作るということを決めて、それを主軸にしながら、鹿児島市や、関係する方々を含めて、周りを巻き込んだ形で、協議といいますか、より良いまちづくりに向けて組織あるいは委員会なのか、どういう打ち合わせ会になるかは分かりませんが、そういったものを作ることをぜひ御要望申し上げたいというふうに思っております。

今日の資料については大変細かいところを作っていたら、概ねこの資料の流れというものに異存ありません。

(委員長)

どうもありがとうございました。ただ今の御意見は、やはりまちづくりとの関係性というか、それとは独立にこれを作るということだけで決めるということとはなかなか将来性へ向かって難しい。ただ、やっぱりこの委員会自体は、体育館自体を作るということを前提に始めていますので、それをイメージして考えながら、それはこれからどこに作るかと決めますけれども、決めた上で周りとの整合性、そのためには場所が決まって、そこにどういう形で作るかっていうところは、また今後議論していくというそういう視点が大切だろうということですね。

そして、この評価については、非常に詳細のデータに基づいて作られているということでもよろしいのではという御意見でしたが、他に何かございませんで

しょうか。

(A委員)

私はやはりもう散々議論をしてきましたので、やはりここで決めないと、また10年もかかってしまうのじゃないかなという危惧をしていますので、それで非常に良く整理表がまとまって、評価されていると思うんです。我々も現地調査もして、よく見ましたので、ちょっと私なりの感想を言いますと、このやはり鴨池ニュータウン9・10号街区はですね、欠点っていうか問題点としては周りが住居というか、マンションに非常に近いということでやはりちょっとふさわしくない。あそこは公社に住民用の駐車場として貸し付けているわけで、その住民用の駐車場を別途確保しないといけない問題点も出てくるのではないかとありますので、駐車場問題は大きいかなと思います。それと商業地にも遠いし、ホテルも近くにアートホテルだけで、ちゃんとしたのはないということでやはり問題点が色々出てくると思います。それから、県農業試験場跡地もですね、広さも十分にあるのですけども、やはり周りは住宅地とですね、あるいは文教福祉施設と、谷山中とか開陽高校、今度特別支援学校もできるということで、そういうことから考えますと、やはりちょっとふさわしくなく、用途変更もする必要があります。

それからホテルとか商業施設も近くに集積していないというのでやはり問題点があるのではないかと思います。市脇田処理場等跡地は狭いかなと思います。住吉町15番街区は、ドルフィンポート跡地と同じように中心市街地に近いと利点はあると思うのですけども、やはり駐車場がちょっと近くなると、この確保は難しい。それからハザードマップ上、津波とか洪水の対策も盛り土とか底上げをしないといけないということで、そういう費用もかかってくる可能性がある。それからさっきも話が出てましたけれども、係留地が老朽化していますので、この辺の補強の費用もかかってくる。この辺が難点かなというふうに視察して思いました。やはり私はもうドルフィンポート跡地が、一番ふさわしいと思うのです。理由を言いますが落とす理由がないのではないかと。交通の利便性が良いし、桜島や鹿児島にとって大事な多くの離島とのですね、アクセスが非常に良い、それから周辺に十分な駐車場がある。混雑はそれほどしないのではないかと。それから中心市街地に近く商業施設、ホテル等が集積しており、利便性が高いし、回遊性も十分考えられ、経済波及効果も大いに期待できるというふうに思います。景観に配慮した設計にすれば、高さが大体、体育館30メートルぐらいというふうに聞いておりますけれども、45メートルから60メートル以内であれば問題ないということなので、私はやはり錦江湾、桜島など鹿児島が誇る景観でおもてなしも色々できるというふうに逆に思います。「みる」スポーツ、「する」スポーツ、スポーツ振興に加えてですね、やはり私も再三言ってますけれども、複合的な機能、多目的利用をですね、3割程度というふうに言ってますけれども、柔軟に考えればいいと思うのですけれども、やはりコンサートだけじゃなくてやはりコンベンションなどのMICE、展示場というものをやって、少しでもやはり収益を上げてい

く必要があります。箱物だけの体育館施設だったら、財政が非常に厳しい中で、将来的にはやはり問題が生じると。サステイナブルなやはり、持続可能な施設を作る必要があるのではないかと。そういうことで、スポーツ振興と前述の他の多目的利用を合体させると、場所的には相当良いので、私は地域活性化に繋がるし、賑わいの創出、まちづくりに大いに貢献できるんじゃないかというふうに思います。

そういうことで、やはりドルフィンポート跡地が極めてふさわしいし、体育振興とそういうまちづくり、地域振興、それから鹿児島県の基幹産業である観光振興ですね、こういったことに繋がっていくと思います。そういう視点が大事じゃないかなと思います。結論的には、私は、ドルフィンポート跡地が一番良いし、落とす理由が見当たらないと思います。

(委員長)

はい、どうもありがとうございました。ただ今の御意見はドルフィンポート跡地が総合的に考えてふさわしいのではないかと御意見でしたけれども、他の委員から何かございますか。

(J委員)

私の意見もどちらかというところ、先程発表していただきましたH委員の意見に近い形になります。この候補地の中で非常に評価点が高く設定されておりますけれどもドルフィンポート跡地の活用方法として、今回の体育館が最もふさわしいのかという点で疑問が残るという意味で、こちらを候補地にするには反対をしております。今までこの委員会も含めまして、今回の体育館のコンセプトとして、メインとしてはこのアスリートファースト「する」スポーツを中心として考えて参りました。例えば、4面にするというのも準決勝などの利便性を考えてのことですし、港からの距離などを考えても離島などを抱える県内の事情を最大限考慮しましょうということで決まってきたかと思っております。その中で、そのような体育館を考えていったときに、こちらの鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインの開発のコンセプトと書いてありますけれども、このかごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点、かごしまの魅力を体感できるエンターテイメント空間、景観資源を活かした魅力ある空間を要素として、年間365日、国内外の幅広い観光客や県民で賑わい、国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る。というコンセプトに合致しているのか、整合性があるのかどうかという点で疑問を感じております。もちろん、今回の体育館を多目的な利用というのもし入れておりますので、こちらに全く合致してないわけではなく、重なる部分があるということも十分承知しておりますし、ドルフィンポート跡地を先程A委員が落とす理由がないとおっしゃいましたけれども、本当に一等地なので、どんな施設を考えてもそれは最適になるのは当然な場所というふうに思っております。そういう中であそここの活用方法としてこのグランドデザインの開発のコンセプトに合うものとして本当に今まで考えてきた体育館がベストなのですかっ

ていうと、どうなのだろうということを考えているということです。その中で他の候補地を考えた場合に、評価の高い方の中から言いますと、鴨池ニュータウン9・10号街区はやはり今使ってらっしゃる駐車場などの点で大きな問題はあるのですけれども、広さが一定程度確保できることとか、周辺の交通事情は、県大会で活用するということを考えてとドルフィンポート跡地と比べて大きく劣っているとは思わないですし、何よりもスポーツ施設との連携が期待できるという点は、大きなポイントになるのではないかと思います。住吉町15番街区は、若干狭いとかハザードとの関係があるとはいえ、I委員がおっしゃったように併せてよりまちづくりの観点でどうかという視点で検討できれば、1つ大きなポイントになるのかなと思います。結論としては、鴨池ニュータウン9・10号街区か、住吉町15番街区をドルフィンポート跡地と絡めて検討してほしいというところで、ドルフィンポート跡地に体育館という形で設置するのは私としては反対をしたいと思っております。

(委員長)

どうもありがとうございました。ただ今の御意見は、今日の評価項目のポイント付けでは一番高かったドルフィンポート跡地になるわけですが、それについては他の色んな施設等の関連性やまちづくりの関係からここに体育館を作るということは同意しかねるというお話でした。他にございませんか。

(G委員)

今、皆さんの御意見を聞きながら、私は大筋ではI委員がおっしゃっていることが最も賛同できるところでして、いずれにしても、ここで結論を出すにしても、関連できる他の施設との関係性であるとか、周辺の施設との全体を巻き込んだ計画をきちんと議論した上で、最終的な姿に持っていくべきであって、その部分は今後附帯事項としてきちんとやっていくんだということを附帯条件にするということが私は必要かなと思います。そういう意味で、H委員、J委員、あるいはE委員も少しスポーツ施設との連携とおっしゃっていましたけれども、そういった意味で、どちらかというドルフィンポートというのはそういう場所ではないのだという御意見と、皆さんおっしゃっている通りドルフィンポートは欠点がないということで、評価されている点があると思うのですが、さっき申し上げたことにも関わりますが、ドルフィンポート跡地に少し疑問をお持ちの委員のお考えは、やはり一等地であって景観も非常に素晴らしくて、あの場所が持っている固有の場所の価値というのがあるということ。それに対して、体育館は設計次第という御意見もありますけれども、閉ざされた形で観光客が自由に入るものでない。そういったものを建てていいのかというお話だったと思います。おそらく、ドルフィンポート跡地が持っている場所の価値というのを大切にすることと、住吉町15番街区の防災上の問題であるとか、狭さの問題であるとかそういう弱点、これを技術的に補うことはできると思うのですが、その全てをコストに仮に換算してみて、ドルフィンポート跡地が持っている敷地の価値を保存するその価値と、住吉町15番街区の弱点を

補うそれにかかるコスト、どっちが大事かという話だと思うのですね。これは、しっかり議論しておくべきです。住吉町15番街区の防災上の問題や駐車場の問題を技術的に解決したとして、その分のコストを払ってでも、ドルフィンポート跡地の良さを保全すべきかと考えるのか、その逆なのか。問題はその部分かなというのが1つです。

もう1つは、最初の話に戻るのですが、仮にドルフィンポート跡地を良しとして考えた場合、それは附帯条件が付く話だと思います。それは、今言いました通り、場所の価値というものがありますので、景観上の問題などをきちんと確保するような設定じゃないと受け入れられない、ここに本当に箱物だけの閉ざされた施設を作ってしまったら、それは我々として望むところではないので、これに関しては条件を付けていかないといけないと思います。当然、その場合は先程も言いました通り、周りとの関係というのも議論せざるを得ないので、その部分が確保されるかということも重要だと思います。

どちらの敷地か、というのは、なかなか言いづらいところが今のところありますので、もう少し皆さんの御意見を伺ってから意見を述べたいかなと思います。要するに、議論すべき論点というか、価値というのは何かというところを少し私なりに整理してみたところです。

(委員長)

ありがとうございます。ただ今の御意見につきましては、それぞれの場所にはメリットがある、けれども一方リスクもあるわけで、そのリスクとメリットを考えたときにどこが良いのかという形で考えていかざるを得ないんですね。100%ここが良いというのは、なかなか難しいと思うので、基本的にはそれも含めた形でこの評価項目、それからそれについての評価基準、そういったものが作られていて、それにつきましては皆さん同意されていると思うのですが、その結果で出てきたポイント付けというのが資料2-1の整理表で、これは多分今のところかなり詳細なデータから作ってありますのでこれ以上何かプラスアルファでこういった客観的な評価というのは難しい気がします。ただ問題は、そういうポイントで出てきたものプラス、それから周りの環境、リスク、これらをどのくらい考えていくのかというところを議論して、総合的にどこに作るのが一番合理的なのか。あるいは作る場所は5箇所になっていますけれども、そこはどういう形で作るのか。例えば、ドルフィンポート跡地だとかなり広い場所ですから、そこのどのあたりに作ることによって景観とかそういったことがクリアでき、これは皆さん現地調査されましたので、多分イメージはお持ちだと思うんですね。そういったところも含めて、もう少し議論して最終的に評価をしていくということにしたいと思うのですが、他に何かございますか。

(K委員)

私も、体育館という用途上、やはり閉鎖的な建物のイメージを持たれる県民の方も多くいらっしゃると思っております。新たな建物が例えば住吉町15番街

区やドルフィンポート跡地のような眺望の良いところに建つということであれば、新たな建物は市街地からの眺望や人の流れを遮らないような工夫がなされていることを十分に県民の方に説明することが重要ではないかなと思っております。閉ざされたこれまでの体育館といったものが、景観の良いドルフィンポート跡地や住吉町15番街区に建築されるということであれば、賛成することは厳しいかなといった気持ちもございます。

(委員長)

体育館の閉ざされたというイメージからドルフィンポート跡地、住吉町15番街区というのはどうかという御意見でしたけれども。他に何かございませんか。はいどうぞ。

(D委員)

様々な意見が出ておりますので、私も自分の立ち位置を申し上げたいと思います。私はもうこれまでも申し上げてきた通り、時間軸っていうのはすごく気にしております、やはりもう10年ずっと議論し続けてきたと、やはり今の現体育館の老朽化を踏まえると待たないで、一刻も早くというのが基本的な立ち位置であります。ですから色々な意見があるにせよ、やはり1回、本委員会としてピン止めをしないとですね、この次の手続きが何も進まないのではないかと、そういう思いを持っているというのが大前提であります。

そういう中で非常に今回、詳細に客観的にまとめていただいて、これまでの議論の積み重ねの中で、結果的に出てきた数字がドルフィンポート跡地と住吉町15番街区というところで、非常に「アスリートファースト」という観点で点数が高いと。かつ同時に、実現を図るとされたその経済性の観点、これらの点数が高いってことはですね、重く受けとめるべきじゃないかと思っております。

ただ私、個人的な悩みとしては、これはもう再三各委員がおっしゃっていますが、その留意点であるまちづくり、あるいは他のプロジェクトとの関係で、例えばドルフィン、住吉町のどっちがいいかと。これは非常に悩ましい話だと私も考えております。体育館、それからサッカースタジアム、コンベンション等々、どういう組み合わせでどういう配置をすると、まちの回遊性、あるいは鹿児島県全体の経済効果を最大化できるかっていうことだと思っております、本委員会のスコープはあくまで体育館ということですので、できるところまで絞り込んだ上で、他のプロジェクトとのリンケージを速やかに図っていくというのが大前提になるのかなというふうに考えております。

ドルフィンと住吉町は4点差ということなんですが、ハザードの関係、それから駐車場が設けにくいという敷地面積の問題、それから護岸改修。結局これらはコストにはね返ってくるってところで、G委員もおっしゃったようにそのコストアップを補うだけのですね、全体最適とか、エリアとしての価値向上があるとしたら、住吉町も俎上に上がってくるものだと思っております。ただ、今数字がありませんので、これは粗々でも良いので、何らかドルフィンと

住吉を比べ得るような材料をお示しいただけるとありがたい。一番良いのは粗々の建設コスト、その相場感というところだと思うのですが、やはり数字を見ると主観的な議論とまた違って、クリアな視点やヒントが出てくるのかなと個人的には思っております。今後の進め方としてちょっとそういうことができるのかどうか私分かりませんが、やはりこれだけ県民市民のですね、意見も関心も高いところでもありますので、今後に思いを残さないよう、ここの部分は丁寧に議論していくってことに尽きるのかなと思っております。

私は本港区エリアということで、ぜひ決めるべきだと思っておりますが、最後どういうふうにするかという中で決していくかというものは、県民市民の声、あるいは経済界とかですね、もっと言いますと、この先鹿児島をどうしていくかという首長さんの思いや意志などそういう観点が入ってくる領域かと思っておりますので、繰り返しですけれども鹿児島百年の計というぐらいのですね、重要なポイントだと思います。その点留意して進めていただけるとありがたいというふうに思います。

(委員長)

はい。どうもありがとうございました。なかなか悩ましい問題ではあります。ただ、議論としては今まで時間は短かったと思うのですが、その中で非常に丁寧にやってきましたつもりでございます。その中で、評価項目、そしてその基準等々について決めながら、この5か所に絞ってそしてこの中から決めていくという形で進めてきたこと自体は、こちらとしては丁寧にやったつもりです。ただ、問題はこの体育館というのがその他の要因、まちづくり等々そういったものとの関わりというのが非常に大きいものがあるというふうに考えられますので、それをどうするかというのはなかなか難しく、この委員会は基本的に総合体育館を作る、それをどこに作って、どういう機能でどこに作るかということを決めていくことが付加されたことですので、その周りの環境との整合性、まちづくりとの整合性といったところまで、ここで全てに当たって決めるということにはできないと思います。ただ、そういったところも考慮しながらということで、今後の留意点等々で意見を付けているわけです。おそらく、この委員会としてはそういった形でしかできないと思います。そういった中で、色々御意見が出ているのですけれども、客観的な基準というものは今日出てきた結果で、これ以上なかなか難しいと思います。問題はそれで決められるかどうかといったときに、やはりどうしても先程からあるように、まちづくりとかそういったところとの関わりというのをかなり重要視しながらということだと思います。ただ、それをここでどうやって評価するのかというのは非常に難しく、先程G委員からあったようにリスクとメリット、そういったところで評価していくしかないと思うのです。

(G委員)

委員長がおまとめの通りだと思います。ただ、逆にですね、この委員会は体育館のことをやるんだというふうに考えると、おそらくK委員がおっしゃった

ようなことですね、それからJ委員、H委員がおっしゃったような、やはり体育館像っていうものについて、我々が本当にどう考えるのかという、その部分はやっぱりきちんと定めないといけないのかなというふうには思いました。実は私も本港区地区で決めるべきだと思っていますので、そのドルフィンポートを第1にするか、あるいは住吉町15番街区のどちらかかなと思うのですが、仮にそれらの場合、どちらも、ある体育館を建てるっていうことになると思うのですが、ちょっとイメージが違うように思うのですね。つまり、ドルフィンポート跡地に仮に体育館を建てるというふうになった場合は、かなりもう従来我々が話していたアスリートファーストの競技場としての体育館というよりは、コンベンションであるとか、あるいはコンサートであるとか、どちらかというMICE機能に少し重点がシフトとしたような開かれた体育館という形でしか、成立しないと思います。そこに、やはり我々としては覚悟を決めて、つまり、新しいタイプの体育館だということでやっぱり説明しないと、やはりA委員がおっしゃっているようなこととも整合しないと思います。一方で住吉の場合ですと、防災上の問題もあったり色々ありますけれども、仮にですね住吉に決めれば、ドルフィンポートの方にまだそういう環境、交流を中心に考えた施設等の余地も残りますので、ひょっとしたらもう少しゆるい競技場としての体育館に近い部分に寄せても、成り立つのかもしれないと思います。なので、まちづくりとの兼ね合いでどう決めるかって議論に一旦なりましたが、そこからもう1回フィードバックしていくと、本来この委員会で最初の頃に議論していた今回建てる体育館は一体どういう体育館なのかという議論にも収れんしてくるのではないかと私は思って今聞いていました。なので、いったんそういう話も整理することが必要なのかなと思いました。

(A委員)

すいません。もう1回ちょっと意見を述べさせていただきます。私も単なる箱物的な体育館をですね、ドルフィンポート跡地に作るのだったら私も反対します。ただ、複合的機能性を持たせるっていうのをずっと議論してきて、体育館も県大会だけじゃなくて全国大会とかプロスポーツも呼んで「みる」スポーツでも振興しようという使い方。それから、箱物だけでは、収益も何も上がらないということで財政状況を考えた場合にですね、本当にサステイナブルではないといけないと思うのです。そこに機能性を持たせましょうと、多目的利用を付加しましょうと。比率は3割なのか、今後の検討ですけども、コンサートもそれからコンベンション、MICEも、県の方でそういう議論をされているので、これを合体したら私はいいと思うのですよ。そうしないと、まちづくりとか、まちの賑わい、鹿児島県の経済復興、観光振興、こういうことに繋がらないと思うのですね。だから、単純に体育館というイメージではなくて、やっぱり複合的に使うのだというふうなことをしないとなかなか議論が進まないと思うので、私は機能性はそういうことで議論してきたと思っています。そこをまた色々まちづくりの観点から寄せ集めて、県でもコンベンションだけを国際展示場を例えばそういう会場を別に作っても、収益性が何も上がらないと思

うのですね。やはり、鹿児島の場合はそれを複合的に合体して、まちづくりに貢献するという観点が必要だと思えます。そういうことから、ドルフィンポート跡地が一番ふさわしいのではないかと思います。景観条例も先程言いましたように、今回作る総合体育館は30m位で、45m～60m内で収まれば問題無いわけで、あの素晴らしいところでスポーツもする、コンサートもする、コンベンションもある、MICEもあると。そしてアクセスが良いという観点からすると、ドルフィンポート跡地になると思えますね。

(C委員)

私としては、新たな総合体育館については、学校体育・スポーツの振興・充実という観点から、立派なものを作っていただきたいと思っています。県内でスポーツを愛する子供たちの憧れの舞台となるようなものを作っていただきたい。単にスポーツをする箱ではなくて、景観にしても、施設内容についても充実したものを作っていただきたいということです。

そうした中で、候補地の中から適地を探すとしますと、本県のシンボルでもある桜島を背景に、オープンスペースといいますか、開放的な緑地、ウォーターフロントパークがありますけれども、これと隣接するドルフィンポート跡地がふさわしいと考えています。

冒頭、本港区の開発コンセプト等との整合のことを尋ねましたが、相容れないものではないと思っています。結構、広い敷地があります。どう配置をするかということも、先程から話が出ていますが、この地域には住吉町15番街区もあります。そういった中で、ランドデザインや、コンセプトをどうするかというようなことを申し上げるつもりはありません。配置ですとか、周辺のまちづくりでありますとか、そういったことは、設計や施工の段階で、(県において)考慮、調整をしていただければよいのではないかと考えているところです。

この委員会に求められているのは、どこかに決めるということですので、私としては、中高生の県大会、時には全国各地からアスリートを集める場になるわけですから、それには、ドルフィンポート跡地がふさわしいと思っています。

(E委員)

今、候補地のことでドルフィンポート跡地だという意見が出されましたけれども、私もそちらの方が良いと思います。屋内競技団体の方々も会議を持ちまして、そのような中でぜひドルフィンポート跡地に作って欲しいということでした。ただ、先程から出ていますが閉ざされた箱物を考えているわけではありません。A委員から先程話がありましたけれども、そういうものも含めて、総合的に捉えてドルフィンポート跡地ということも挙げております。特に先程申しましたけれども、競技会の円滑な運営・効率化、離島の生徒のこと、国際大会・プロリーグ等の誘致といったことを考えた場合に宿泊施設と競技会場のアクセス、所要時間等々が非常に限られてきております。そういう諸々を考えますと、ドルフィンポート跡地が最適というもの出てきておりますので、ぜひお願いしたいと思えます。

(委員長)

ただ今の御意見は、ドルフィンポート跡地、住吉町15番街区が機能面とそれから経済波及効果を考えて時に最適だという御意見でしたけれども、基本的にこの体育館を作るときにやはり最初はコンセプトをどうするかというのか議論をしてきております。そこで、やはりアスリートファーストと出てきますけれども、どういう体育館にするかということからはじめて、そして機能・規模を決めていき、それにおきましては、コロナ禍の中で大変でしたけれども他県に行って実際にイメージを持ってもらうということで視察にも行きました。その結果、どういう体育館を作るというのは議論してきたつもりではあります。それで、出てきた結果が評価項目になっているわけであり、それに基づいて客観的なデータから客観的な評価をしていくためには点数化をしていく必要があるわけで、それによって出てきたのは今日の話であって、全くそういうことを考慮せずにここまで来たわけではございません。

その中で、色々議論はしてきたつもりですけれども、今御意見を伺っていますとそここのところがまだ不足していたのか、ここで今出されるとこれをどう進めていくかというのが難しくなります。なので、このプロセスの中で、そういった議論がもう少しできていた方が良かったのかなと思いますが、ただこの今まで出てきた皆さんの御意見で作った評価項目、これについて基づいて資料を作った結果がこれで、これについてはなかなかこれ以外のファクターで客観的な点数化というのはできないと思います。そうするとこれをベースにして、そして他の要因でどうするかということ議論していくことになると思うのですが、それをどうやって客観的に評価していくかということは難しいと思います。なので、基本的にはこの評価結果というのが必ずベースになると思います。ただ、それに対して御意見が色々今日出てきていますので、その辺のところを今後どうしていくかということが課題になってくると思うのですが。そういったところも含めて何か御意見がございましたら、あるいはやっぱりここが良いよという御意見がございましたら、どうぞ。

(L委員)

以前、候補地の約30か箇所の中から、この5つの候補地が挙がりました。そして、5つの候補地というのは体育館を作っても良いという条件だと思います。それに評価基準が12項目決まりました。この中で、1つ1つはめ込まれて、評価結果が出てると思います。だから、この評価結果をもとに5つの候補地から決めて欲しいと思います。また、我々としては障害を持っている団体ですから、交通の便が一番気にするところでもあります。住吉町15番街区とドルフィンポート跡地が高い点数が付いてますけど、特に評価点の高いところが良いなと私は思っておりますので、できましたらドルフィンポート跡地に良い体育館を作りたいと思います。また、景観とかそういうものについては、設計の段階で色々調整できると思うので、それはまた後で決めてほしいと思います。

(委員長)

はい、ということでドルフィンポート跡地、今までの議論からしてここが適地でないか、それから、障害者のスポーツという観点からもそこが適地ではないかという御意見でしたけれども、他に何かございませんか。

(F委員)

私も評価点というのが大事だと思っております。というのは、この委員会で体育館のコンセプトがやはり1万5千人なのか、1万人なのか、8千人なのか結局、中規模アリーナということで8千人の収容できるバスケットボールコートが4面でコンセプトは動き出したと。それが良くあてはまる土地はどこかというのを探したということなのですね。私も色々見させてもらって、今回初めていったところもあります。私大隅の人間なので、鹿児島市内のことはあまり分からないのですが。でもやっぱりドルフィンポート跡地は面積が広く、ここに体育館があれば、その前にウォーターフロントパークもあるので、例えばここでスケボーができた子供達が動いているようなイメージが沸いたのですね。他のところも見させてもらったんですけど、和歌山にいった時も体育館がかつかつな箱物になっていて、隣に住宅があって、窓を閉めてスポーツをしないといけないと。空調があったら良いのですが、なかったら暑い中でやらないといけないと。鴨池ニュータウン9・10街区も広くて良いのですが、真ん中に道があって、サブコートを隣接しないといけないのですが、メインアリーナとサブアリーナはどうしても離れてしまう感じになるのかなと。周りにマンション等もあるので、ここも良いんだけどなと思いつつながら。あと、住吉町15番街区は、大変興味を持って見ていたんですけど、大変狭いんですよね。それこそ、きちっとはまってしまうと設計の人が大変だよなと思いつつながら。あと体育館に目的がある人しか来ないのかなと思いました。それよりも、ドルフィンポート跡地だと色々な人達が来て、色々な活動ができて、スポーツを身近に感じてもらえるという気がいたしました。スポーツを身近にもっとやってもらえる場所なのかなというふうに感じたので、ドルフィンポート跡地は魅力的だなと、私は点数どおりだなと思いました。あとは、本当この附帯事項というところはすごく大事なところで、ただ箱物を作ってしまうのではなくて、街とミックスした、ふらっときたら何かやっているとか、おいしいものを食べに行ったら何かスポーツをやっているみたいな所に将来的になって、将来30年50年100年と続くようなことになっていけば良いかなと思いつつながら、そのためにこのドルフィンポート跡地の広い土地の中で最低限のこのスペースが活かされて将来的に発展していったら良いかなという思いです。

(委員長)

どうもありがとうございます。ただ今の御意見は、やはりドルフィンポート跡地が、場所が広いですから、今後の留意点等でもございますように、色々考える余地は出てくるのかなと。そして、この1万5千㎡というのをクリアしていても、そこがかなりギリギリであるとする、むしろ作る体育館というのが、

おそらく今までの形と違って、オープン化していくような形で作られていくと思うんですね。そうすると、やはり自由度が少しあった方が良いのかなというのは評価点以外のところで評価できることはあると思うのですが、他に何か御意見ございませんでしょうか。

(I 委員)

大きな流れに、別に逆らっているわけではないのですが、ドルフィンポート跡地が良いというのは出ていますし、やはりドルフィンポート跡地を主軸に考えるということについて異論はないのですけれども、ただドルフィンポート跡地については皆強い思い入れがあって眺望とか市民がそこで集ったりできないとか色々なことを考えて、逆に思いが強すぎるからフリーズしちゃうというところがあると思います。私が申し上げたいのは、5つの候補地は全て自己完結的に施設を組み込んでいますね。ということはメインアリーナ作ってサブアリーナ作ってそれで駐車場も作りましょうって話でやっていくわけで、仮にドルフィンポート跡地になったときに、当然今後そこに商業施設なのか、コンベンションなのか、スタジアムなのかと周辺に作るようになってくるわけですね。そうしていくと必ず駐車場がさらに欲しくなってくる。そうするとその時にドルフィンポート跡地の駐車場にコンベンション作るとしたら、駐車場がなくなってしまう。でも、コンベンションを作ることによってさらに駐車場のニーズが高くなる。じゃあ駐車場がありませんということで、この地区駄目ですねという話になったりしませんかというのが不安なわけですね。ですから、やはり次の計画が必ずあるのだ、ドルフィンポート跡地については仮に決めても、次の計画が必ずあるのだということを前提に考えてほしいということを申し上げたいと思います。

すなわち、住吉町15番街区をどう使うかということもありますけれども、ほぼ隣接地だと思っていて、このぐらいのゾーンがあってもまだ本港区のポテンシャルでは足りないかもしれないぐらいのところだと思っていて、それをドルフィンポート跡地の中に自己完結的に体育館を作って駐車場を作るとなると、必ず次に何かを作るときに、駐車場の所に作らないといけなくなっちゃう。そういうパラドックスというかジレンマに陥らないようなことを考えて欲しいと思います。もし、仮にドルフィンポート跡地ということであれば、住吉町15番街区も含めた5万4千㎡というのが候補地であるのだろうと思っていて、ただその候補地というのは体育館を作るための候補地だけではなくて、これからのドルフィンポート跡地を中心とした本港区の魅力に資するものを作るための全体の候補地なのだとすることを私は思っていて、私としてはドルフィンポート跡地を主軸に置きながらも住吉町15番街区というものも入れた全体のゾーンとして、未来軸を作りながら、これからのまちづくりを一体的に検討するテーブルを今後作って協議を進めていただくというようなことが望ましいと思っております。

併せて、今日議論になっていませんけど、この施設をPFIにするのですか、指定管理者にするのですか、コンセッションにするのですかという議論がある

と思います。これも作り方によって違ってくると思いますし、施設自体は指定管理者にして運営し、あとの場所はPFIにするとか、これはいくらという固定費を決めた中で全体はコンセッションにするなど色んなやり方があると思います。この議論はいずれやらなければいけないですが、委員会だけで決定することはできませんし、まちづくりの視点で、どこに何を作るべきかということはこの委員会で決めることも無理です。この委員会では、作るということを決める。私は、これまで申し上げたとおり、ピンポイントにどこじゃなくて、このあたりに作ると。そして先程申しましたような未来軸の中での将来計画を議論するテーブルというものを作って、大事なドルフィンポート跡地を恐縮な言い方ですけど、体育館だけで独り占めしないようなそういった形で御理解いただけないかなと思っております。一意見です。

(G委員)

私は、I委員の意見に全面的に賛成です。

(委員長)

他に御意見はございませんか。

(A委員)

私もI委員がおっしゃる通り、そういうふうに思うのですけれども、ただ、私もドルフィンポート跡地に体育館だけを作るのだったら反対だと。複合的に機能させるのだとそこにコンサートとか、コンベンションをやる。そのぐらいしないとですね、稼働率は上がらないと思うのですよ。コンベンションホールを別に作ったらですね、これもまた財政負担が大きいし、体育館と別々に作ったらどっちも共倒れするので、複合させるべきだと、機能させるべきだと思います。箱物の体育館だけではないと私はそういうことをずっと申し上げているのですけども、ぜひその辺は理解していただきたいと思います。それからサッカースタジアムの話も出たと思うのですが、これは市がやっていると思うのですが、そこら辺のことも考えなきゃいけないのですけど、どういうふうに議論されているのか全く我々には分からないし、新たにサッカースタジアムを作るとしても年に試合がたったの20ぐらいしかない無いわけですよ。それは、財政面、収益面などより大変なことになるので、それは別途ですね、議論すべきではないかなというふうに思います。

(委員長)

それではですね、皆さん、色々御意見を出していただいて、おおかたドルフィンポート跡地と住吉町15番街区ならば皆さんが今考えていらっしゃるところは割とクリアしている。おそらく反対されているJ委員とK委員もそこを含めた形であれば、今日のところは先程H委員から出てきた意見についてもそのところは入っていますので、今日はなかなか1つに決めるということが難しいような気がします。ただ、今5か所あって、これじゃまた次というわけにはいきません。進めていかないといけないので。そうすると今までの皆さんの御意

見，これを踏まえてみますと，あと事務局から出てきた評価結果はやはり重いものだと思いますので，そこでみるとドルフィンポート跡地とほぼ隣接している住吉町15番街区，こういったところが俎上に挙がるのかなと思います。今日は1か所に決めるというスタンスでこの会議を進めましたけれども，どうもそこまでは反対意見等もございますので，できませんが，このドルフィンポート跡地と住吉町15番街区について今日出た意見を踏まえて，例えばG委員がおっしゃったようなリスクとデメリット，これはなかなか難しいです。評価を数値化するのには難しいと思いますが，その辺のところを整理していただいて，この2つで次回は議論をしていくと。その中で，複合的とおっしゃられますけど，どちらにそれを作るのかというのは決めなさいけません。なので，この2つでさらに今日の評価結果に加えて，今日出た御意見からさらにプラスアルファのデータ・情報を提示して次回どうするかといったことを決めていければと思いますが，これでよろしいでしょうか。

(G委員)

ちょっと確認なのですが，I委員が申し上げたのは，例えば72ページにある図でドルフィンポート跡地のところは下にありますが，各施設があつて駐車場がNHK側に配置されていますが，例えばこの駐車場を住吉町15番街区に持ってくるというそういう答えの出し方はないのですかと。要は，津曲委員がおっしゃったのはそういうことかなと思っております，つまり住吉町15番街区とドルフィンポート跡地を一体にして，2つの敷地の中にこういうものを入れていきながら，例えばコンベンションであるとか，今後将来考えられる施設，建設可能地みたいなものも落とし込みながら考えていくということで良いのではないかと思うのですが，そういうことですね。

(I委員)

そうです。

(委員長)

それでは，そういった可能性も含めてこの2つで資料を提示していただいて，どちらにするのかあるいはG委員がおっしゃられたように，駐車場の場所を変えるとかそういったところも含めて，それが可能なかどうか，そういったところも含めてもう一回議論する必要があるかなと思います。

(G委員)

その際，この資料と採点は重いものだと思いますので，主軸がどちらにあるのかといえば，ドルフィンポート跡地なのかなということだと思います。ただ，皆さんおっしゃっているように，ドルフィンポート跡地だけ完結することはないのではないかということで，隣接する住吉町15番街区とともにドルフィンポート跡地の良さを活かしつつ，全体として成り立つように考えるということにした方が良いのではと思います。そのあたりで，例えば色々な検討がまだあるのかもしれないけれども，この委員会としてはどちらかを主軸にとI委員も

おっしゃったと思うので、主軸というものはドルフィンポート跡地で良いのかなと思いますので、全くパラでどっちかに決める必要が今後あるのかということまでは私は考えていないのですが、その辺はもう一回整理した方が良いと思います。

(I 委員)

例えば、仮に県農業試験場跡地に決まればその中に駐車場から何から全部入れないといけないというふうに思います。しかしながら、他の地区に比べると、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区は、隣接しているわけです。そして、県農業試験場跡地にコンベンション作ろうとか、何かそれから複合的にやりましょうという話も一切出てこないです。しかし、ドルフィンポート跡地においてはこんな使い方もありますよってというのがたくさん出ているんですね。そうすると、例えばドルフィンポート跡地に決めたってということによって住吉町15番街区は駄目だと、一切使わないってことは多分現実的にあり得ないのだろうと思っています。その時に、あの時落としちゃったじゃないですかと。いやいや、やはり駐車場のことを考えますと住吉町15番街区も候補に入れましょうって言うのだったら、ドルフィンポート跡地に決まるのだったら最初から住吉町15番街区も一緒に考えていかないと、次のドルフィンポート跡地の計画とか、そういったものの中でどこかにしわ寄せが来ると思いますし、ここにまだゆとりがある形で全体をとということを考えることによって、少し未来軸でこの議論はできて、この委員会でするという意味ではないんですけど、県としても未来軸として考えると、やはり住吉町15番街区とドルフィンポート跡地の一体的な利用というようなことを考えていく必要が出てくるのではないかと思います。ドルフィンポート跡地だけ決めちゃうと、結局空いてるところは駐車場にしかならないわけですけど、多分当初は駐車場にしても、将来的にそうじゃないかたちになるんじゃないかと思うんですね。じゃあ次にここに何か作ろうとなったときに、また駐車場の話が必ず出てくるわけです。ここには多分集客施設が出てくるわけですから、その駐車場の場所を探さないといけないってことを考えると同時間軸で見ても、ドルフィンポート跡地に、もし体育館を作るといふ考えをするのであれば、この辺りの場所も一緒に考えないといけないのではないですかと思うと、どうしても住吉町15番街区を入れとかないと、色んな部分で無理が生じるのではないかなと思ったりするわけです。どこに建物を作るかということや、西向きが良いか東向きが良いかということは、よく分かりません。でもやはり、「全体のゾーンの中で」ということで考えた方が、体育館も色んな方向性が少し柔軟になってくるかと思えますし、当然視点場といいますか、景観上色々な議論がありますが、中央駅からのストリートの延長線上の景観は重要ですねとか、住吉町15番街区のところの船だまりもちょっと面白いですねって話が出たときに、全体で考える必要があるのではないかなと思ったところで、それが私の意見の趣旨です。

(委員長)

分かりました。ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区、これを一体としてこの候補地として考えると、そういった形で最後どういった体育館の配置がいいのか、それを考えていくと、そういった形で進めていくと。

(I 委員)

そうです。県農業試験場跡地と市脇田処理場等跡地と一緒に考えるということは無いわけです。しかし、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区は、一体的に考えていった方が、色んな柔軟性が出るのではないかということです。

(委員長)

G委員も同様だということですね。他の委員の方々は、ただ今の御意見についてはよろしいですか。

(K委員)

先程の発言が完全にドルフィンポート跡地、住吉町15番街区に反対という意見ではなくて、G委員が先程補足していただいたドルフィンポート跡地であれば新しいタイプの体育館が必要である、また住吉町15番街区であれば競技を主体とした体育館となるといったように場所によってできる体育館像というものに広がりができるのかなと思っておりまして、ですので住吉町15番街区とドルフィンポート跡地の2つを広い地域として考えてとらえるということは、体育館の方向性に柔軟性を持たせるといった意味でも賛成できるのかなと思って、今お話をお伺いしておりました。

(J委員)

私が懸念しているのが複合的な機能を持たせる体育館は構想としては素晴らしいと思うのですが、普通に体育館を建設するよりも建設コストも当然高くなりますし、維持管理のコスト、毎年のコストというのも高くなるのかなということです。その時に収益力、イベントだとかコンサートとかを開催してそのコストをカバーできるだけの収益をあげなければならないと。今度はそうなってくると、体育館という機能が枷になって、十分にそういったイベントを開催できるかっていう点で疑問が出てくるということもあって、複合的を目指してちょっと言葉悪くて申し訳ないですけども中途半端なものになってしまうのが一番恐ろしいと懸念をしているところです。

ドルフィンポート跡地に作るのであれば新しいタイプの体育館にせざるを得ないという点がある中で近いところにある住吉町15番街区というところまで含めて、このエリアの中でどういった体育館が必要なのか、またそういった周辺地区との回遊性とか、経済的波及効果、また市民の皆様がどういう使い方をできるのかということを広く考えて、また機能としても県民の皆様の「する」スポーツを振興し、子供たちの育成などを考えた中で、私たちが今まで考えてきたような体育館が実現でき、さらにプラスアルファの機能も準備できるというその可能性を考えるのであればドルフィンポート跡地というふうにピ

ンポイントで決めるのではなく、住吉町15番街区まで含めて、こういった形がいいのか、活用方法ができるのかということを考えていただけるのかなと思います。

(委員長)

はい、どうもありがとうございます。それでは、大体皆さん、先程のI委員の御提案ということで考えるということであれば、合意ができるというふうに思います。そうすると、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区、これを一体として考える。もちろん建物はどちらかに建つということになると思うのですが、その駐車場等々も含め、それから周りとの環境、それからそのあと留意点で書かれているようなことも踏まえて、どこにこういったものを建てていくというのは、この両方のドルフィンポート跡地と住吉町15番街区、これを一緒にして考えると、そういった結論になるかなと思うのですが、よろしいでしょうか。

はい、それではですね、この5か所の中でどうするかというところから、議論が始まったわけですが、会議の結論としては、このドルフィンポート跡地と住吉町15番街区、この今日の評価点のポイントでいうと1位、2位ということになりますけれども、ここを一体として考えて、まちづくり等々、あるいは今後の色んな施設をどう作っていくというところを考えながら、どこにその区域の中で、どこにはめていくかということを考える、議論していくという形で今後進めてよろしいでしょうか。それでは、事務局の方は、そういう形で結論づけるという形になりますけどよろしいですか。

(前田部長)

本当に熱心な御議論をいただきましてありがとうございます。ずっと傍聴の皆さんもいらっしゃいますし、マスコミの方々もいらっしゃいますし、その中では緊張感を持って真剣な御議論をいただいたのだと思っております。

1点だけ確認でございます。議論の中で、私どもの方でちょっと作業させていただきましてけれども、客観的に合理的な観点からの評価につきましては、皆さん一定の御理解と御評価をいただいているのではないかと思っております。そこでちょっと確認なのですが、ドルフィンポート跡地が評価29点ということで最高点をいただいているところでございます。この委員会の結論は、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区も併せて検討してくださいということなのですが、スケジュールとかを考えますと、なかなか基本構想を策定するに当たりまして、色ないわゆる条件付けでありますとか、データの収集でありますとか、要はJ委員からもございましたけれども、収支の関係まである程度粗々でお示しする必要があるのかなと思っております。それを考えますと、ドルフィンポート跡地メインで作業はさせていただきたいと思っておりますが、そこについてちょっと御了解をいただけると大変ありがたいと思います。よろしく申し上げます。

(委員長)

はい。ということで、体育館を建てるに当たって、コストをどうするか、計算、経済波及効果をどう評価するかとかそういったところを算定して、今後議論を進めていかないといけないのですが、それはやはりこれはどこかでこの建物を建てるというのが前提になるのですが、この一体としてこの2つの地域に建てるということは一応ここで了承していただきましたけれども、そのコストそれから利便性、そして経済波及効果の評価、そういったものは実際にどういう建物がどこに建つってということを前提で算定していかなければいけません。その粗々な指標についてはドルフィンポート跡地に建物をとりあえず建てるということをして前提にしてその評価をし、おそらくドルフィンポート跡地とか住吉町15番街区ってというのは先程から議論されているように隣接地ですから、経済波及効果とかですねそういったものはそう大きくは変わらないような気がします。ただ、どちらに作るかによってコストってというのはやっぱり変わってくるかもしれませんが、粗々ドルフィンポート跡地に建てたらどうなるかということをして前提に、そういったデータとを出すと。時間の関係上ですね、そういった形で進めていかないといけないのですが、それについてはそういった形で進めてもよろしいでしょうか。

はい、ではそういった形で進めてください。

それではですね、整備候補地については、当委員会としてはドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体として考えて、その建物をどこにするかということは今後の議論の中で決めていくということになるという結論になると思います。今後ですね、この候補地ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体として候補地になるわけですが、それを予定地として基本構想案作成について次回以降の検討委員会、具体的なレイアウトや整備コスト、収支。これは先程言いましたように、どこかに一応あてはめて、データを作っていかなければいけませんので、そういった形で進めて検討するというにしたいと思えますけれども、そういった形でよろしいでしょうか。

はい、それではそういった形で進めていきたいと思えます。

それではどうもありがとうございました。

それでは次に議事の(2)「その他」に入っていきます。議事の「その他」についてですけれども、ただ今議事の整備候補地についてドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体として考え、候補地にすることになりましたけれども、それを踏まえて、この整備予定地2つの区域をベースにして考えて、基本構想の案を作っていかなければなりません。その際にまちづくりの観点とか、それから施設の仕様、それから配慮すべきと考える事項、これは今、かなり意見が出てきていると思うのですが、さらにこれにプラスして何か御意見がございましたらここでお出しください。

(G委員)

まさに委員長のおっしゃるとおりで、先程までの議論の整理の意味でちょっと発言させていただきますが、今後出てくるメインアリーナ・サブアリーナ等

のレイアウトですが、将来の増築余地をぜひ構想の中に盛り込んでおくのがいいのかなと思います。それが、何になるかは分かりませんが、それが今回の体育館と一体となってまちづくりに寄与していくというのが理想ですので、ぜひ基本構想のなかで増築余地を入れていただければと思います。

（委員長）

どうもありがとうございます。これは一回建てると長い間使うものですから、増築の余地を残しておくということも、大切なことだと思いますので、それも付け加えてお願いします。それでは、他に何かございませんか。

（A委員）

基本構想の中に盛り込んでいただきたいなと思うのが、やはり、県大会だけじゃなくて全国大会とかプロスポーツもあるわけで、やはりVIPラウンジとかそういうのをやっぱり設置してもらいたい。こういうのが結構全国の体育館とかアリーナとか見ますとあるし、それからアスリートはやはり健康というのが大事なので、鹿児島には健康元気の源のウェルネス素材が食材にしろ、温泉にしろ、自然にしろありますので、そういうのをアピールするようなものを何か施設内に作った方がよいのではと思います。情報発信としてスポーツミュージアムとかそういうものとか、室内であれば今ものすごく人気になっているフィットネスとかヨガとかオリンピックに採用されたボルダリングとかそういうものをですね、費用と施設の大きさにもよるのですが、そういうものが今後将来を考えた時に必要になってくるのではないかなと思います。それから、施設外ではスペースの問題もあるのですが、やはり鹿児島の賑わいとか、まちづくりを考えた場合には、やはりレストランとかフードコートとかですね、フリーマーケットとかそういうところや、あるいは気軽に市民が、ウォーキングするジョギングする、そういうエリア、あるいは今スケートボードもオリンピックに採用されましたけど、スケートボードをする若者がですね、場所がないというふうなことで、非常に問題になっていますから、スケートボードエリアなんかもね、ちょっと若者を引きつけるためには必要じゃないかなと、スペースの問題もあるんですけども、十分私はドルフィンポート跡地の周辺だったら、そういうのもできるんじゃないかと考えていただいて、基本構想の中に入れていただければありがたいなと思っております。

（委員長）

どうもありがとうございました。今、委員がおっしゃられたようなことは今後議論を進めていく中でまた取り入れていくというところで進めていきたいと思っております。

（K委員）

先程F委員もおっしゃっていましたが、隣接するウォーターフロントパークとの一体的な使用ですとか、また、県産材を使用した木質化の検討により鹿

児島らしさに配慮していくことは重要かなと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

今、おっしゃられた意見は、最初のところで要望がでていたものもありますので、今後どういった建物にしていくかという議論の中で検討していきたいと思います。それでは他に何かございませんか。よろしいでしょうか。それでは、事務局で先程の議論の中で出てきたものや今、委員から出てきた要望を整理して次回に備えてください。それでは、事務局の方から何かございますか。

(西スポーツ施設対策室長 説明)

(委員長)

それでは委員の方々、ここで何かおっしゃっておきたいとことはありませんか。それではないようですので、本日の議事は以上で終了いたします。長時間皆様お疲れ様でした。

3 閉会

— 以上 —